

星間市社会福祉協議会



上加賀田支部

「まなだけ会」だより

平成27年3月10日発行

第3号

《田植えから餅つきまで》

子ども会 会長 近藤 文

まなだけ会による三世代交流事業として、今年も田植え・稲刈り・餅つき体験学習が行われました。

今年は1年生が7名入り、小学生25名で参加しました。会の人たちに教えてもらいながら、田んぼの中に裸足で入り、1本ずつ手で植えて行きました。一列になって植えていくので1年生は追いつこうと一生懸命です。終わった後は、手作りのカレーをみんなで美味しくいただきました。「今年は、1年生たくさん入ったね」とか、「あんたところの子どもは何年生になったの」とか、会の人たちと親たちの間でも会話が広がります。

お正月には、秋に刈り取った餅米を使って餅つきです。上級生たちは、お父さんたちに交じって餅をつきます。「あいつは力強くなってきたな」とか、「腰が入っているな」とか周りが声援を聞かれます。最後は、みんなでできたてのお餅を食べ、まゆ玉飾りを作ってお土産に持ち帰ります。たくさんまゆ玉を付けた1年生たちはとても満足な様子でした。

稲の生育を通じて世代間の交流が生まれるこの行事は、上加賀田地区ならではの行事です。準備から指導まで、まなだけ会の方々の愛情に感謝いたします。ありがとうございました。



《まなだけ会 リサイクル部会活動》

リサイクル部会 小松崎 登

リサイクル部会は、アルミ缶の回収を年6回隔月に実施し、その収益金を会の運営費とするもので、8名の部会員で構成されているものです。

上加賀田地区の皆様には、会の趣旨をご理解いただき、指定日にアルミ缶のご協力をいただき感謝申し上げます。

お陰様で、年間2万円弱の収入になり、まなだけ会の運営に大変役立らせていただいております。

これらの小さな活動から、地域の輪が広がれば本会の目的のように「助け合い、支え合いながら安心して暮らせる上加賀田地区」となれば、と思っております。

いろいろな活動団体がある中、地区の皆さんが素直な気持ちで参加し、全員参加型の地域づくりが必要であり、これからの自治体の理想であると考えます。

「協力感謝いたします。」